

式 辞

春爛漫。花や草木が暖かな日の光を浴びて輝き、新しい年度の始まりを彩ってくれております。

本日、ここに保護者の皆様の御臨席をいただき、京都府立東宇治高等学校第四十九回入学式を挙行できますことを心より感謝し、高壇からではございますが、厚く御礼申し上げます。

ただ今入学を許可しました新入生の皆さん。入学おめでとうございます。私は、ここで皆さんにこれからの三年間で人のつながりを大切にし、自分ができることをしっかり考えられる人になってほしいと思い、お話をいたします。

皆さんは、選抜試験を乗り越え、自らの意志で本校に入学されました。大きな期待と少しの不安を抱き、今、ここにいることでしょう。皆さん自身、もちろん大いに努力してきたことでしょう。

でも、そこには、これまで皆さんを育ててこられた御家族の支えや、小学校、中学校でお世話になった先生方など多くの方々のお力添えがあったことを忘れないでください。そして感謝の気持ちを大切にしてほしいと思います。

皆さんが入学された、この令和四年度は、教育において新たな取組が始まる初年度でもあります。これから始まる新しい教育活動で、自分の力をしっかり高めてください。

まず、高等学校において、学習指導要領が新しくなり、これまで高校にはなかった新たな科目の授業が始まります。

そこでは、知識・理解を元に思考力や判断力、表現力を鍛えながら、自ら学びを進めていく方法を学び、自分の人生を通して学び続ける姿勢を身に付けていくことを目指します。

さらに、一人一人がタブレット端末を活用する ICT教育の取組も始まります。これからの社会は、多くの情報の中から自分に必要な情報を選び出し、活用していく能力を高めていくことが求められています。ICT機器を有効に活用し、自分の可能性を広げ、学ぶ楽しさを味わってください。

タブレット端末は、授業だけでなく、課外活動、家庭学習の支援や連絡ツールとしても活用していく予定です。

ただし、ICTの技術やそれに関連する機器はあくまでも道具です。

それを使用する人間の考え方によって、便利で人を幸せにしてくれる一方、他人を傷つけ、自分の人間性も低めてしまうものになったりもします。SNSを使った誹謗中傷やいじめは後者の例です。

パナソニックの創業者松下幸之助さんは、「知識というのはある物事について知っているということであるが、知恵というのは何が正しいかを知ること、是非を判断するものだ。知識を道具にたとえるならば、知恵はそれを使う人そのもの。お互い、知識を高めると同時に、それを活用する知恵をより一層磨き、高めてゆきたいものだ。」と述べられております。

科学技術の進歩により、便利で効率の良い社会になった今こそ、人間としてのあり方や生き方が一層問われているのだと私は考えています。

古代ギリシアの哲学者ソクラテスは、大切なことは、「ただ生きるのではなく、善く生きることだ」と生涯を通して人々に訴えかけました。今から二千五百年以上も前の、時代も場所も異なる人の考え方ですが、人間が生きる限り普遍的な意味を持つ言葉ではないでしょうか。

東宇治高校は、「みらいを明るくできる人を育てる」という教育目標を掲げています。この目標を実現するために私たち教職員は「挑戦する姿勢」「周囲と関わる姿勢」「努力し続ける姿勢」の三つの姿勢を身につけるよう皆さんと一緒に活動してまいります。

しっかりとした基礎基本の学習を土台として、一人一人が主体性を持って「自ら学ぼうとする力」や「知識を活用して問題を発見し解決していく力」を育て、皆さんの将来の夢や進路の目標を実現するために授業改善に全力を注いでいきます。

また、部活動や学校行事なども積極的に取組み、多くの交流をとおして豊かな人間関係を築いてください。

現在、国内外には、答えがすぐには見つからない課題や多くの人が協力しなければ解決できないような大きな課題が山積しております。

グローバル化や情報化が進展した世界では、それらの課題が自分の今の生活とつながっていることも多くあります。それらの「つながり」に気づき、「自分には何ができるのか。」を考え、行動できる人になってもらいたいです。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様の御入学おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

私たち教職員一同お預かりしたお子様が将来の道をしっかりと切り拓いていくよう、全力を尽くしてまいります。

高校生活は人生を決定する大切な時であり同時に悩み多い時期でもあります。どうか、お子様の歩む姿や努力の過程をしっかりと見守り励まし、人生の良き先輩として共に歩んでいただきますようお願い申し上げます。

子どもの成長は、学校とご家庭 地域が連携協力しあって対応することが大切です。どうぞ保護者の皆様方には本校の教育活動に対し、御理解と御支援、御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

新入生の皆さん、この東宇治高校での三年間を通して自分の可能性を信じ、何事にも挑戦し、仲間とつながり共に高め合い自分を磨き続けてください。

皆様のご活躍と幸せをお祈りして私の式辞といたします。

令和四年四月八日

京都府立東宇治高等学校

校 長 中村 健史